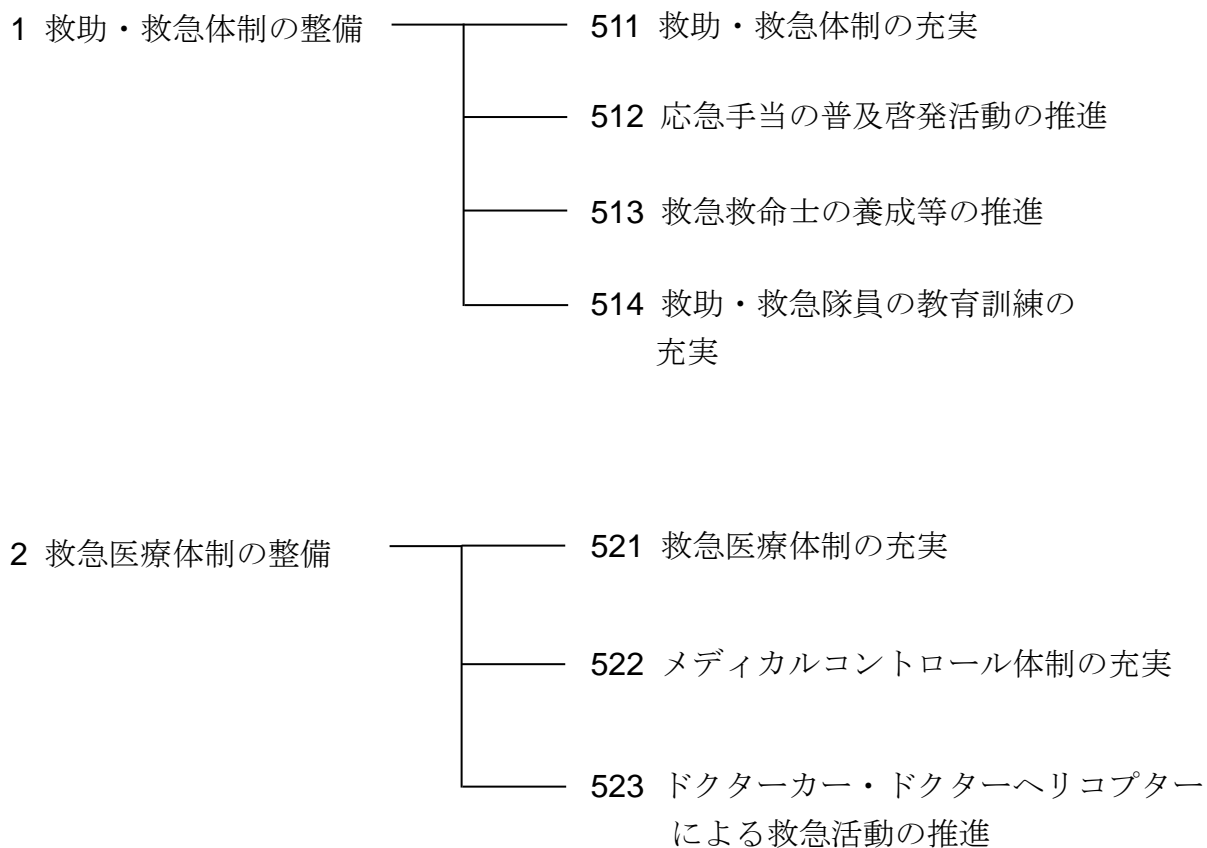


## 第5章 救助・救急活動の充実

### 【施策の体系】



## 解説

交通事故による負傷者の救護には、一刻一秒を争う迅速さが求められます。有事の際に、迅速かつ適切な救護を実現するため、その基盤となる救助・救急体制のさらなる充実を図ります。

特に、負傷者の救命を第一とする観点から、救急現場または搬送途上において、医師、救急救命士、救急隊員等による一刻も早い救急処置等を実施するための体制整備を図るほか、バイスタンダー（現場に居合わせた人）による応急手当の普及啓発活動を推進します。

### 1 救助・救急体制の整備

- 1 救助・救急体制の整備
  - 511 救助・救急体制の充実
  - 512 応急手当の普及啓発活動の推進
  - 513 救急救命士の養成等の推進
  - 514 救助・救急隊員の教育訓練の充実

#### 511 救助・救急体制の充実

平成25年4月より、所沢市は、飯能市・狭山市・入間市・日高市とともに組織する埼玉西部消防組合の一員となりました。消防の広域化により、5市を横断する統一的な指揮のもと、出動隊数の円滑な確保に繋がっています。

ひきつづき交通事故の救助・救急活動を迅速・的確に行えるように、消防機関の救助・救急体制の充実を推進します。

#### 512 応急手当の普及啓発活動の推進

交通事故による負傷者を救命するとともに負傷の程度を最小限に抑えるためにはバイスタンダーによる適切な応急手当が必要なことから、自動体外式除細動器(AED)の使用を含めた救命講習会への多くの市民の参加を促進し、

応急手当の普及啓発に取り組みます。

特に、小学校と中学校の教職員に応急手当普及員の資格を取得して頂き、生徒を対象とした救命講習会の充実を図ります。



### 513 救急救命士の養成等の推進

救急救命士を計画的に養成するとともに、気管挿管、薬剤投与、ショック状態の傷病者に対する輸液、ブドウ糖の投与が実施できる救急救命士の育成を図ります。消防士の採用にあたっては、救急救命士の有資格者を考慮します。

### 514 救助・救急隊員の教育訓練の充実

救助隊員及び救急隊員の知識・技術等の向上を図るため、教育訓練を一層充実します。



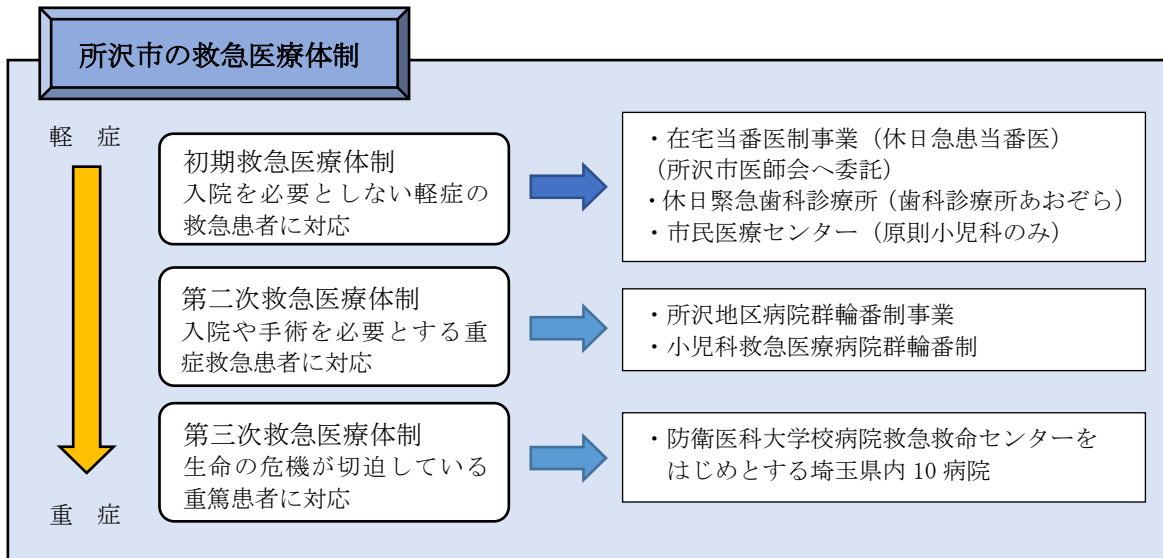
研修会の模様

## 2 救急医療体制の整備

- 2 救急医療体制の整備
  - 521 救急医療体制の充実
  - 522 メディカルコントロール体制の充実
  - 523 ドクターカー・ドクターヘリコプターによる救急活動の推進

### 521 救急医療体制の充実

所沢市では、初期から第三次までの3段階の救急医療体制が整備されています。各段階に応じた適切な救急医療を提供するために、関係機関との連携を図っています。



また、負傷者の迅速な救急搬送を実現するため、救急医療情報システム※等により各救急医療機関の診療情報を的確に入手するとともに、関係各所との情報共有を進め、救急医療体制のさらなる充実を図ります。

※救急医療情報システム

埼玉県医療整備課が整備し、消防機関・医療機関が連携して運用しているもので、最新の医療情報（救急受入れやベッドの空き状況等）がインターネット上で確認できるシステムです。

## 522 メディカルコントロール体制の充実

救急隊員が行う応急処置のレベルを維持・向上させるために、メディカルコントロール※体制の充実を図ります。

365日24時間体制での救急隊員に対する医師の指示・助言体制、救急隊員等の再教育の体制、救急活動の事後検証の体制、これら3つの体制を更に充実させ、救急活動における応急処置等の質の向上を図ります。



メディカルコントロール協議会

※メディカルコントロール

医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質（救命効果の向上）を保障することです。

## 523 ドクターカー・ドクターヘリコプターによる救急活動の推進

ドクターカー※及びドクターヘリコプター※は、負傷者の救急処置及び搬送に有効であることから、救急活動において必要に応じ積極的に活用します。

※ドクターカー

埼玉西部消防局では防衛医科大学校病院に救急車を待機させ（平日9時～17時）、重症傷病者からの救急要請に対し、医師を搭乗させた救急車が出動する体制をとっています。



## 第5章 救助・救急活動の充実

### ※ドクターヘリコプター

埼玉県が所有する救急医療専門のヘリコプターです。救急現場からの救急要請により医師が搭乗したヘリコプターが県内全域に出動します。

